

3. 中期計画

3.1 第2期中期計画（平成29年度～34年度）における平成30年度計画と実績

3.1.1 平成30年度計画の概略（石川県公立大学法人 平成30年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

■平成30年度は第2期中期計画（6年間）の2年目であり、中期計画の3つの柱「大学教育機能の強化」「地域連携・地域貢献機能の強化」「ガバナンス機能の強化」に基づき、引き続き教育研究機能の改善に向けた課題検討を行うとともに、改善策の一部実行を行う。

重点取組項目	看護大学	
		内容
I 大学教育機能の強化 - 社会ニーズに応じた教育の提供 - 学生の学びの質向上	①学部教育の充実	・医療現場の多様化・高度化に対応するため、医療機関等へのアンケート調査や臨床教授等との看護教育懇談会等を通して臨床現場の意見を収集し、学部教育の改善に向けたカリキュラムの改定を検討する。
	②大学院教育の充実	・大学院において、新たに助産師養成課程を開設する等、高度実践看護師の養成を行うとともに、CNS(専門看護師)教育を充実させるための検討を行う。
	③学生の能動的学修の推進	・学生の主体性、課題解決能力を高めるため、地域におけるボランティア活動や異学年交流等を促進するとともに、アクティブラーニング型の授業を積極的に実施する。
II 地域連携・地域貢献機能の強化	④産学官連携の推進	・地域ケア総合センターの機能を活かし、かほく市・能登町等と連携した健康増進活動及び地域住民を対象とした公開講座等を行うことで地域の健康・福祉の向上に努めるとともに、新たに奥能登地域に在住の看護職者を対象とした在宅看護に関するスキルアップ研修を開催することで看護の質向上を図る。
	⑤学生の地元定着促進	・県内他大学とともに地方創生推進事業(COC+)を推進し、石川県の産業や文化等に関する映像教材を使った「地域指向型教育」を実施するとともに、県内で看護職として活躍する卒業生との交流会の開催等を通して学生の地元定着に努める。
	⑥社会人教育の充実	・看護キャリア支援センターにおいて、現職看護職者のキャリア形成支援を行うため、認定看護管理者教育課程(サードレベル)及び認知看護認定看護師教育課程を実施する。
III ガバナンス機能の強化等	⑦ガバナンス体制の構築	・理事長及び学長のリーダーシップの下で戦略的に大学をマネジメントできる組織体制を構築し、大学改革を推進するとともに、中期計画の着実な推進及び教育等の継続的な改善に資する大学IRを試し、大学の将来を見据えた教育研究の方向性及び実行計画を検討する。
	⑧大学間連携の推進	・看護大学と県立大学の共同研究を推進し、合同研究発表会を開催するとともに、両大学合同のFD(ファカルティ・ディベロップメント)研修を開催する等、教育交流も推進する。
	⑨広報活動の充実	・大学間の学生獲得競争など大学を取り巻く環境変化を見据え、前年度に策定した広報戦略に基づき、効果的に大学の魅力をPRできるような新たな広報媒体の活用やコンテンツの刷新を含めて広報の充実を図る。

3.1.2 平成30年度実績の概略

(石川県公立大学法人 平成30年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程の充実

(1) カリキュラムの改定

- ・ 社会のニーズに対応したカリキュラム改定を実施
 - ①看護学実習内容の変更・充実
 - ②大学で学ぶ基本的能力強化を目的とした科目の追加
 - ③教授内容の重複整理による科目の統廃合
 - ④科目毎の単位と時間数のバラつきの均一化
 - ⑤学生が理解しやすい科目名表記に統一 など

(2) 助産師養成課程の開設

- ・ 実習施設との連携調整を密に行い、実習機会を確保

(3) 大学院進学への喚起

- ・ 大学院教育懇談会の開催時期の変更
- ・ 学部生に対する大学院についてのオリエンテーションの実施

2 教育実施体制の充実

(1) 教育資材の改善

- ・ 実習・実験環境の充実に向けて教育研究用備品を整備
- ・ 無線LAN (Wi-Fi) の語学演習室等への設置拡充

(2) 自学自習の環境整備の推進

- ・ 「データベースによる文献レビュー研修会」を1年生から実施
- ・ 電子図書の5ヵ年整備計画を策定

3 学生への支援

(1) 学生の学修や生活上の相談体制の充実

- ・ 匿名による相談が可能な「SOUDAN BOX」を学内に新設

(2) 早期にキャリアイメージを形成できるよう支援

- ・ 卒業生を招き、聴講及び意見交換の機会を提供

4 研究の推進

(1) 地域課題解決への貢献

- ・ 健康増進に関する研究プロジェクトとして、冬場の運動不足解消を目的とした「か歩く健康ウォーキング事業」を実施

(2) 研究体制の改善

- ・ 委員会組織を少人数化し、教員の研究時間を確保

5 地域貢献及び国際貢献の推進

(1) 地域連携事業の充実

- ・かほく市いきいきステーションを活用した新たな地域公開講座を計画
- ・猿鬼歩こう走ろう健康大会で健康キャンペーンを実施（能登町）
- ・限界集落での住民の健康チェックを実施（津幡町）
- ・学生ボランティア団体が、かほく市子育て支援センターでの託児ボランティア活動などを定期的実施

(2) 認定看護師の養成

- ・認定看護師教育のニーズ調査を実施
- ・次年度に感染管理認定看護師教育課程の開設を決定
- ・認定看護師のフォローアップ研修や実践報告会の開催を通じて認定看護師のネットワーク構築を支援

(3) 国際交流事業の推進

- ・タイ及び韓国研修の充実によるグローバル人材の育成体制を強化
- ・ワシントン大学からの招聘教員と協働した英会話セッション等の実施

項目別評価の状況



項目	IV	III	II	I	計
教育	5	19	0	0	24
研究	0	3	0	0	3
地域貢献	1	3	0	0	4
グローバル化	1	2	0	0	3
計	7	27	0	0	34

※ IV…年度計画を上回って実施している。 III…年度計画を順調に実施している。
II…年度計画を十分には実施していない。 I…年度計画を実施していない。

業務運営の改善・効率化に関する目標

- 1 **ガバナンス体制の強化による大学改革の推進**
 - ・グローバル人材育成プランの策定
 - ・広報改革や基礎科学教育、図書館機能の充実に向けて5ヵ年計画を策定
- 2 **両大学間連携の推進**
 - ・合同FD研修会及び合同研究発表会の開催
 - ・両大学の共同研究の促進
- 3 **事務組織等の整備と効率化**
 - ・ウェブ出願の導入に向けた検討の実施
- 4 **教育研究組織体制の改善**
 - ・教員編成方針を取りまとめて公表
 - ・人間科学領域及び健康科学領域の科目群担当制に向けた検討を開始

財務内容の改善に関する目標

- 1 **志願者の増加に向けた取り組み**
 - ・前年度の高校訪問調査結果を踏まえたPR資料の作成
 - ・個別高校訪問の際に使用するチラシの作成
 - ・大学の特色やキャンパスライフを発信する受験生応援サイトを整備
 - ・広報媒体の統一的リニューアルに向けた業者の一元化
- 2 **維持管理経費の節減**
 - ・電力会社の省エネコンサル等を活用した電気料金の節減
 - ・施設管理等の業務委託契約において、内容を精査のうえ長期契約を締結

自己点検評価及び情報提供に関する目標

- 1 **大学への評価を活用した取り組み**
 - ・教育の内部質保証に関する大学の方針について明文化し、学内に周知
 - ・自己点検評価サイクルに活用する在学生・卒業生調査を充実

その他業務運営に関する目標

1 施設設備の計画的な更新

- ・長期修繕計画に基づいて空調設備を更新
- ・備品整備計画に基づいて教育研究用備品を更新
- ・学生情報システム等の情報システム機器を更新